

令和3年度補助系統別事業評価票(横須賀(A)線)

1. 補助系統の概要(△)

系統名	運営主体	運行事業者	区間	キロ程	運行回数	関係市町村
横須賀(A)	知多乗合(株)	知多乗合(株)	大府駅前・尾張横須賀駅	8.2km	12.5 回	大府市・東海市
細系統				km	回	
				km	回	
				km	回	

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)

接続の状況(△□)	模式図(△□)
<p><接続する系統></p> <p>東海旅客鉄道東海道本線・武豊線 名古屋鉄道常滑線 名古屋鉄道河和線</p> <p><接続される系統></p> <p>知多乗合大府線 東海市循環バス 大府市循環バス</p>	

2. R3年度の運行状況

事業実施の適切性		《参考数値》 主要指標の推移(△)																														
計画どおり運行されたか(△)	評価																															
計画どおりか。そうでない場合は理由	事業計画どおり運行回数が確保されている	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用者数【人】</td> <td>65,561</td> <td>85,243</td> <td>87,009</td> <td>88,839</td> <td>78,592</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度(実績)</td> <td>3.0</td> <td>3.8</td> <td>3.9</td> <td>4.0</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>輸送量(実績)</td> <td>37.2</td> <td>47.1</td> <td>48.3</td> <td>50.0</td> <td>44.6</td> </tr> <tr> <td>収支率(実績)</td> <td></td> <td>78.3%</td> <td>79.0%</td> <td>60.7%</td> <td>54.1%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	年間利用者数【人】	65,561	85,243	87,009	88,839	78,592	平均乗車密度(実績)	3.0	3.8	3.9	4.0	3.6	輸送量(実績)	37.2	47.1	48.3	50.0	44.6	収支率(実績)		78.3%	79.0%	60.7%	54.1%
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度																											
年間利用者数【人】	65,561	85,243	87,009	88,839	78,592																											
平均乗車密度(実績)	3.0	3.8	3.9	4.0	3.6																											
輸送量(実績)	37.2	47.1	48.3	50.0	44.6																											
収支率(実績)		78.3%	79.0%	60.7%	54.1%																											

目標・効果達成状況		
評価	目標の達成状況(△)	運営主体の所見、理由分析、認識(△)
A	<p>目標 92,000</p> <p>結果 78,952</p> <p>特記事項</p>	<p>横須賀線は、尾張横須賀駅と大府駅前を結ぶ基幹路線であるが、目標の85.8%であった。日中の利用が少ないことや新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことから、全体の利用者数が減少した。今後もより一層、利用促進を図る必要がある。</p>
	運行事業者の所見等(△)	市町村の所見、理由分析、認識(□)
		<p>市町村名: 東海市</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、全ての指標において前年と比べて減少している。横須賀線は、本市においても重要な基幹路線であるため、今後もより一層、利用促進を図る必要がある。</p>
		市町村の所見、理由分析、認識(□)
		<p>市町村名: 大府市</p> <p>前年度に比べ、主要指標が軒並み減少している。地域間幹線系統路線としての重要な公共交通サービスを維持していくため、利用促進策等の継続した取組が必要である。</p>

複数市町村を跨ぐ系統としての役割				
指標(市町村を跨いでの利用)	利用状況及び所見(△)	住民の利用状況(□)	住民の利用状況(□)	住民の利用状況(□)
市町村を跨ぐ利用者数(△)	3,255 人/月	市町村名: 大府市	市町村名: 東海市	市町村名:
全利用者に占める率(△)	49.5 %	大府市、東海市ともに高等学校近くに停留所があることや、鉄道駅を結ぶことによる通勤・通学利用者が多い。また、所轄の警察署まで行く手段でもある。	知多バス上野台線と共に、東海市と大府市を結ぶ重要な公共交通手段であり、通勤・通学利用者が多い。	
特記事項	2021年6月8日及び6月9日実施のOD調査結果をもとに算出			

《参考数値・情報》 その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報	
運営主体(断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等)(△)	沿線市町村《沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載》(□)
<p>大府駅前:おおよそ160人/日</p> <p>尾張横須賀駅:おおよそ50人/日</p> <p>市町境の断面輸送量は上記のとおり</p>	<p>JR大府駅乗車人員(R元年度、知多半島の統計 令和2年版):14,756人/日</p> <p>名古屋鉄道尾張横須賀駅利用者数(R2年度):1,546,423人※</p> <p>名古屋鉄道高横須賀駅利用者数 (R2年度):967,218人※</p> <p>東海市循環バス中ルート輸送人員(R3年度):93,079人</p> <p>東海市循環バス南ルート輸送人員(R3年度):88,832人</p> <p>大府市循環バス東コース輸送人員(R3年度):24,933人</p> <p>大府市循環バス西コース輸送人員(R3年度):22,903人</p> <p>大府市循環バス南コース輸送人員(R3年度):29,399人</p> <p>大府市循環バス中央コース輸送人員(R3年度):52,142人</p> <p>※名古屋鉄道駅利用者数は会計年度(4月～3月)</p>

3. R3年度の取組状況

直近の事業評価結果(△)		運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)
A	事業評価を踏まえた取組	利便性向上に関して、知多バスホームページのリニューアルを行った。また、定期券・回数券のWEB販売を開始した。昨年度に引き続き、沿線自治体と連絡し、広報等に路線時刻表を掲載する等の取組みを展開した。	市町村名： 大府市 相互利用促進のため、大府市循環バスの路線図・時刻表に横須賀(A)線への乗継箇所を明示し、公共施設窓口及び市内主要施設へ配置した。	市町村名： 東海市 東海市の時刻表を配布する際に、路線バスの時刻表を併せて配布している。	
改善点とした事項(△) ホームページ、広報誌を活用したPR、時刻表の掲載等					
関係者の連携等(△□)	その他の取組	沿線施設等への路線周知等を行い、施設利用者のバス利用促進に努めた。			

4. 今後の課題

課題と認識している事項			
運営主体(△)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)
新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少したため、一層の利用促進に向けた取組を進める必要がある。	市町村名： 大府市 大府市循環バス・東海市循環バス・知多乗合株式会社路線バス等の相互利用促進に向けた取組が必要である。	市町村名： 東海市 東海市・大府市・知多乗合株式会社の三社が連携し、より一層の利用促進に向けた取組が必要である。	市町村名：
運行事業者(△)			

5. 今後の取組

課題に対応した取組、その他の利便性の向上、利用促進の取組				
取組時期	運営主体の取組(△)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)	市町村の取組(□)
R4年度、R5年度に行う取組	当社ホームページを活用した利用者の利便性向上に関する取組を進める。また、利用しやすいダイヤ設定とその周知を継続して行う。	市町村名： 大府市 横須賀(A)線のPR活動を継続するとともに、路線バスにおける利用者増加策を三者で模索する。	市町村名： 東海市 令和6年度のダイヤ改正に向けて、令和4年度に市内公共交通路線について、路線別、便別のバス等利用特性を把握するため、バス停間OD調査を実施し、集計・分析を行う予定。	市町村名：

注. 評価にB、Cがある系統(市町村にあっては、目標の達成状況に関する評価がB、C)、又は平均乗車密度が3.0を下回る系統については、具体的な取組内容と収支率の目標値を記載すること。

6. 地域公共交通計画(地域公共交通網形成計画)に記載した補助系統の目標と評価

	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)
目標	市町村名： 大府市 会計R6年度目標値 知多バス横須賀線利用者数:250人/日	市町村名： 東海市 平成26年度の利用者数の水準を維持(市内路線バス利用者数:367,000人/年)(横須賀(A)線利用者数:53,996人/年)	市町村名：
自己評価	会計R2年度実績 知多バス横須賀線利用者数:211人/日 新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回っているが、今後の回復により達成の可能性はある	目標としている利用者数を上回っているものの、東海市内の乗降客数は多くないため、利用促進に向けた取組みを継続する必要がある。	

7. 補助系統に接続するフィーダー系統の利用・接続状況

沿線市町村(□)	沿線市町村(□)	沿線市町村(□)
市町村名： 大府市 (R2年度) 大府市循環バス東コース輸送人員:24,933人 大府市循環バス西コース輸送人員:22,903人 大府市循環バス南コース輸送人員:29,399人 大府市循環バス中央コース輸送人員:52,142人	市町村名： 東海市 (R3年度) 東海市循環バス中ルート輸送人員:93,079人 東海市循環バス南ルート輸送人員:88,832人	市町村名：

通信欄	(この欄は関係者間で付記したいことや特記事項がある場合に利用する。県バス対策協議会事務局からの依頼事項についても記載する。)
※適宜、セルの結合を変えて利用してください	